

社会生活の自立度評価表 結果公表

NPO法人ソーシャルデザインワークスでは、令和6年より取り組み始めた「社会生活の自立度評価指標(SIM)」を公表いたします。各個人のプライバシーや進捗状況は異なるため全体としての平均を算出しているの公表とさせていただきますので、ご了承願います。卒業時の平均値につきましては、対象者が少ないため、今回の公表は控えさせていただきます。

令和6年度 自立訓練(生活訓練)(令和6年10月時点)

1. SIM公表数

	人数
入所時SIM評価	20名
退所時SIM評価	—

2. 各項目の合計(入所時・卒業時)

	項目 (点数は1～7)		入所時 平均値	入所 時中 央値	卒業 時 平均 値	卒業 時中 央値
す社 る会 た生 め活 のを 活維 動持	1. 健康管理	必須	4.25	4	—	—
	2. 金銭管理	必須	4.33	5	—	—
	3. 身の回りの管理	必須	4.45	5	—	—
	4. 買い物（買い物先までの移動を除く）	必須	5.56	6	—	—
	5. 家事活動(調理含まず)	選択	4.22	4	—	—
	6. 調理	選択	4.30	5	—	—
	7. 生活のセルフマネジメント	必須	3.81	4	—	—
に社 参会 加の すー る員 たと めし のて 活積 動極 的	8. 外出移動(公共交通機関、自家用車)	必須	5.33	6	—	—
	9. 人間関係	必須	4.05	4	—	—
	10. 仕事/学校	選択	4.10	4	—	—
	11. 地域での余暇活動	必須	4.48	4	—	—
	12. 日中活動	必須	3.80	4	—	—
共通項目	13. 制度・サービス活用	必須	4.52	5	—	—
合計			64.78	52	—	—

3. 支援する上での所見(一部抜粋)

金銭管理や服薬、感情のコントロールなどが、特に他者の力を必要とする部分である。フォーマル・インフォーマルな社会資源を活用しつつ、ご自身でできる工夫を一緒に考えていけると良い。

体調面やコミュニケーション面に関しては、比較的低い数字が出ている。相手に意志を伝えたり、他者と物事を進める際のコミュニケーション面が影響して、体調を崩す可能性がある。可能性を考慮し、支援や訓練をおこなうことで、体調が安定するかもしれない。